

奥羽大学報



目次

119

平成20年度入学式	2
新学費制度導入／平成21年度入学試験日程	4
新入生オリエンテーション／(歯)第一学年学外研修	5
(薬)フレッシュマン・ミーティング／影山晴川育英奨学生授与式	6
父兄会総会・保護者懇談会／(歯)父兄会「地域会」	7
学長杯球技大会／献血者合同懇親式	8
高大連携公開講座／	
平成20年度4年制実務実習－実務実習前半を終えて－	9
(薬)早期体験学習－本学薬学部附属病院の見学／	
交通安全講習会／韓国慶熙大学薬学部教授来校	10
平成20年度科学研究費補助金	11
受託研究／学友会活動記録	12
歯学体操団式／	
大学院入学式・オリエンテーション／大学院特別セミナー	13
NHK大学セミナーin奥羽大学／	
オープンキャンパス／中高生大学見学	14
第17回奥羽大学公開講座／	
日本歯科保存学会賞の栄誉／第45回奥羽大学歯学会	15
国際学会	16
附属病院	17
図書館	19
余滴／セクシュアル・ハラスメント防止委員会活動報告	20
同窓会	21
同窓生のひろば	22
指定職紹介	23
新任教授紹介	26
平成20年度教学関係人事／平成20年度客員教授・非常勤講師	27
人事	29
慶弔／郡山自転車ロマン紀行(連載)	30
平成20年度前期定期試験日程(薬・薬)	別刷

平成20年度入学式

平成20年度入学式が4月4日金、本学記念講堂にて挙行された。

桜がほころび始めたキャンパスに全国から新入生が集まり、午前10時に開式となつた。式は国歌斉唱に始まり、学部ごとに新入生全員が呼名されると、清水秋雄学長より入学が許可された。厳粛な雰囲気のなかで式は進行し、最後に担当教員が紹介された。

なお、成績の優れた新入生に対して授与される、奥羽大学影山晴川育英奨学金の被授与者は、下記のとおりである。

歯学部 歯学科 高橋 文太郎

**告辭****学長 清水秋雄**

平成20年度奥羽大学入学式を挙行するに当たり、ご来賓の学校法人晴川学舎理事長影山英之先生はじめ役員・関係各位のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

新入生、歯学部第37期生ならびに薬学部第4期生の皆さん、入学おめでとう。今日までの努力と、歯学・薬学を究める熱意に、敬意を表するとともに、ご父兄ともどもお喜びのこと、同慶の至りであります。

皆さんは、本日の入学式をもって個人的にも社会的にも「歯学、薬学を専攻する」ことを明示したことになります。

さて、医療系学部といわれる医学、歯学、薬学の教育は、医学のよりよき社会的適応と

いう観点から、また医療人の素養としても、社会・人間医療学系の学問が重視されるようになりました。それら学問には、関連する自然・人文科学等の学問体系が介在し、いわゆるリベラルアーツの学際的必要性が背景にあります。

医療に関しては、かつて急性期の病気が蔓延していた時代には、治療活動に追われていましたが、今や再生医療、ナノテクや分子レベルの先端医療が行われるようになりました。一方、保健医療の対応としては、病気の変遷、健康観、人権意識の高揚等により、医療を健康増進から機能回復へと広義に捉え、健康者から重篤な病人までの健康状態がカバーされるようになり、また患者と医療人との関係においても、父権主義が後退し、患者様といわれるよう、両者が同等かあるいは患者が上位になるように変わってきました。

保健政策としても、平均寿命の延長策に止まらず、自立して社会生活が営める健康寿命を如何に延長させるかに転換し、生活習慣の側面から、健康の自己管理にも重点が置かれています。さらに、高齢者の福祉対策にも、要介護であっても、それを不要にする介護予防が組み込まれ、政策上の日進月歩がうかがわれます。その背景には、わが国の医療の進展、人口構造の変動や、複数の病気を抱える高齢者の増加により、国全体の健康状態のバランスに偏りが生じてきたことが挙げられます。

この幅広く、多様なニーズに対応するには、医療人の、それぞれの立場における優れた専門知識・技能はもちろん、医療人としての資質が問われることになります。

今後、皆さんには、本学で受ける教養・専門教育や、また学友、教職員、さらに社会における人的交流等の経験的学習によって、建学の理念である「人間性豊かな有為な医療人の育成」に、限りなく接近する必要があります。

どうか、皆さんが地域社会の期待に応えるため、学問には厳しく臨み、思いやりのある、温かい医療が施せる医療人を目指し、健康で充実した学生生活を送るよう願い、告辞いたします。

祝　　辞

理事長　影山　晏弘

法人を代表して心よりお祝い申し上げます。
おめでとうございます。

皆さんは「歯科医師」または「薬剤師」となることを目指して、本学に入学されました。

それぞれに、小学校では児童として、中学校・高等学校では生徒として教育を受けてこれら、本学に入学した只今から「学生」となられました。

「学ぶ」とは「まねぶ」に由来し、“まねてすること”で、自ら学ぶ者を「学生」と呼称します。ですから、大学では漫然と出席だけして時間を過ごしても、覚えられることがありません。自らが学ぼうとする意欲と、理解する努力がなければ、何も修めることができません。

学ぶことは難しく、苦しさや辛さが伴うことがあります、あきらめず、逃げ出さず、投げ出さず、根気よく続ければ、多くのことを知り、複雑なことも理解でき、物事の善し悪しの区別ができるようになります。それら全ては誰からも奪われることのない「知識」として、自分だけのものにすることができます。

先程、新入生代表の方が学則を守り学業に専念することを誓われました。何があっても貫いて下さい。人生に大切なことは「志」、即ち人生における目標であります。本学の原点である創立者の座右銘は「志ある者　事遂に成す」という言葉でした。

創立者は貧困家庭に育ったことから小学校しか通えず、14歳のとき、左足に大怪我を負いますが、充分な治療を受けることができなかったことから、17歳で身体障害者になり、歩行障害を抱えたまま社会に出ることになりました。以後、治ることのない骨髄炎とのつき合いは生涯にわたります。

不自由な毎日の生活の中で立てた目標は、他人様に迷惑をかけない一人前の社会人になることでした。努力を重ね、歯科技工士の手職を身につけ、歯科技工所を開業し独立を果

たして、次に目指したことは、自分と同じ境遇にある社会的に立場の弱い人々の力になることでした。昼夜の別なく頑張って、事業を幾つか興し、沢山の身体障害者の社会復帰に力を尽しました。周囲から信用を寄せられるようになりました。そこで、それまでの自分を振り返り、人々が健全な社会生活を送るには、是非とも教育と医療が必要であるとの信念と、自分を育ててくれた地域社会に対する恩返しの気持ちから、50歳の時、本学の前身である東北歯科大学を創立しました。

皆さんは「歯科医師」または「薬剤師」を目指して、今第一歩を踏み出したのですから、なんとしても目標を達成していただきたい。本日同席した皆が、そのことを望んでおります。

また、本学にいる間には是非とも身につけてほしいものがあります。それは社会人として最も大切な「隣人を思いやる心」であります。人の役にたちたいと思う心を持ち、言葉や行動に表すことができるようになっていただきたい。本学の建学の精神である「豊かな人間性」がそこにあります。「豊かな人間性」は一朝一夕に身につくものではありません。様々なことに興味を持ち、多くの人と触れ合うことにより、身についていくものだと思います。皆さん、大いに学んで下さい。そして、人間性豊かな医療人となって、平和な未来社会を築き上げてくれることを切に希っております。本日はおめでとう。

宣　　誓

新入生代表　幕内　麻奈美

本日は、私達一同にとりまして生涯忘れるこのできない大きな喜びであります。

ただ今、学長先生の告辭をいただき、大学生としての自覚と責任の重大さを強く認識いたしました。

私達入学生一同は、ひとときの喜びにおごることなく、一日一日の積み重ねを大切にして、建学の精神を尊び、学則を守り社会に役立つ人間を目指し、学業に専念することを誓います。

新学費制度導入

本学薬学部においては、平成21年4月より学費制度を改め、入学金がこれまでの60万円から20万円に、授業料が180万円から150万円に、それぞれ減額されることになった。この制度改革は、これまで以上に、学ぶ意欲をもった受験生を支援して、地域に貢献しようとの意図によるものである。

なお、本制度は、平成21年度のすべての新入生のみならず、来年度から薬学部在学生全員に適用される。

今、カタチになる未来の自分。

地域貢献! 学ぶ意欲を持つ受験生を応援!

新学費制度導入。

薬学部 入学金 60万円 → **20万円**
授業料 180万円 → **150万円**

奥羽大学
歯学部・薬学部

毎月1回
開催

その日、キミは大学生。ひと足早く大学体験。
オープンキャンパスへ!

6/14(土) 7/26(土) 8/24(日) 9/6(土) 10時~15時 (選考開始) 10/12(日)
13時~15時 (選考終了)

www.ohu-u.ac.jp
奥羽大学

平成21年度入学試験日程

学 部		歯 学 部			薬 学 部		
区 分	出願期間	試験日	合格者発表	出願期間	試験日	合格者発表	
推薦入学	10/27(月)~11/4(火)	11/5(水)	11/6(木)	一期	10/27(月)~ 11/7(金)	11/11(火)	11/13(木)
				二期	11/25(火)~ 12/11(木)	12/13(土)	12/15(月)
一般選抜入学	一期	1/ 7(木)~2/ 3(火)	2/5(木)	2/6(金)	1/ 7(木)~2/ 5(木)	2/ 8(日)	2/10(火)
	二期	2/16(月)~3/ 4(木)	3/6(金)	3/7(土)	2/12(木)~2/27(金)	3/ 3(火)	3/ 5(木)

新入生オリエンテーション

歯学部

4月7日(月)、歯学部1年生が一同に揃い新入生オリエンテーションが開催された。歯学部長の訓話、学生部長挨拶に続き各クラス担任が紹介された。歯学部長の訓話の中では、本学の出席要求率が80%であることの意義と、健康管理をはじめとする生活の自己管理を確立させることの重要性が示された。

その後、各クラスに分かれてクラス会が開かれた。新入生はクラス担任から学生生活へのアドバイスを受けるとともに、疑問点について活発に質問しており、奥羽大学生として6年間の勉学を頑張る、という意気込みが感じられたオリエンテーションであった。

(廣瀬 公治)

薬学部

入学式の翌週4月7日(月)、薬学部新入生に対するオリエンテーションが行われた。はじめに、永井薬学部長より“新入生への歓迎の挨拶”と“セクシュアル・ハラスメントの防止に関する説明”があり、続いて岩間学生部長より“大学生としての自覚を願う言葉”が新入生におくられた。

次にクラス担任の紹介、履修ガイダンスと続いて行われ、新入生は大学生としての自覚をもつ学習への第一歩が始まった。ほのかな緊張感と大学生としての意識を感じられ、新入生オリエンテーションにふさわしい時間となった。履修ガイダンスでは、はじめに本年度年間行事日程、次いで教育カリキュラムと単位修得について、さらに予習・復習の大切さが説明された。また、本学は授業の出席を重んじており、授業の出席日数が規定に満たない場合は不測の事態が生じることが説明され、大学生としての自覚が求められた。その他、選択科目の登録、学生生活についての諸注意があり、午後は各クラス別ガイダンスが行われ一日が終了した。

(野沢 幸平)

(歯)第一学年学外研修

入学式の余韻がまだ残る4月11日(金)～12日(土)、歯学部1年生の相互交流や親睦を深めることを目的とした学外研修が、学年主任、クラス担任、カウンセラーなどの教職員も参加して、天栄村に位置する研修施設「ブリティッシュヒルズ」で行われた。

研修では、心と心の触れ合いを目的としたエンカウンター研修、これから的学生生活をいかに有意義に過ごすかKJ法で考えるグループワークとその全体討議、さらにはアクティビティー（クッキング、スヌーカー、アロマテラピー、モノポリー）など盛りだくさんの内容であった。また、フリータイムでは、ブリティッシュヒルズの外国人スタッフとの異文化交流や、ハリーポッターに出てくるような外套をまとった散策する光景も見られた。

2日間の研修を通じて新しい友人関係もでき、これからはじまる学生生活への不安も緩和されるなど和やかなうちに研修は終了した。

(廣瀬 公治)



(薬)フレッシュマン・ミーティング

薬学部では、新入生対象のフレッシュマン・ミーティングを4月8日(火)、本学第2講義棟と1号館実習室を中心に行なった。今年度は、特に学生自身の自ら学ぶ力の向上と薬学を学ぶことに興味を持たせることにポイントを絞ってプログラムが作成された。

始めに薬剤師の先輩から新薬学生へエールの言葉が贈られた。次に本学薬学部の車田文雄先生より、大学生として自信と誇りを持つために「人間力」を如何に高めるか!という内容の講話があった。小休止の後、体を使ったゲーム等を使い、アイスブレークやエンカウンターグループ研修を行い、新入生どうしの絆を深め、午前の部を終えた。

午後の部は、「五感を通して薬学の楽しさを体得しよう」という「先取り薬学実習」、次に実習の内容をもとに班ごとにスマート・グループ・ディスカッションが行われた。そして、この研修の最後に、全員が一堂に集い、ディスカッションでまとめられたことについて発表会が開かれた。

終始、楽しそうな会話が飛び交う中、和やかな雰囲気のうちにすべての日程を終了した。新入生達はこの研修を通して、新しい仲間との良き出会いを得、これから的学生生活の始まりにふさわしい楽しく有意義な時間をもつたことと思う。

(野沢 幸平)

**影山晴川育英奨学金授与式**

平成20年度影山晴川育英奨学金授与式が4月14日(月)学長室において行われ、次の8名の学生に清水秋雄学長より奨学金とメダルが授与された。

歯学部歯学科

第3学年	児玉 節子	白川 喜人
第4学年	伊東勇一郎	入江 亜希
第5学年	熊野 肇	小松 紀子

薬学部薬学科

第3学年	須藤 修治	緑川 信幸
------	-------	-------

そして授与後、清水学長より、「日頃の研鑽・努力なくして、この栄誉は得られません。おめでとう。

皆さんに望むことは、ひとつには、在学中には是非、どの領域でもよいから掘り下げた専門性をもってほしいことです。その内容はもちろん姿勢は、きっと社会に出てから役立つはずです。

もうひとつは、当然のことながら、医療人として活躍していくには対人関係も重要になってきます。その土台を学生時代の様々な交流・体験を通して培い、人間性に幅をもたせてください。

健康に留意して学生生活を送るよう願っています。」という励ましとお祝いの言葉があった。

(榎原 直文)



父兄会総会・保護者懇談会

歯学部

5月17日(土)、歯学部父兄会総会ならびに保護者懇談会が開催され、約200名の父兄が出席した。

午前の定時総会では父兄会長、歯学部長挨拶の後、教育方針、平成20年度のカリキュラムの特色、歯科医師国家試験の結果と今後の対策、学生生活等の説明が行われた。

午後からは、各クラス担任との保護者懇談会が行われ、出席状況、成績、学生生活などについて熱心な質問がなされていた。

(渡辺 克己)



薬学部

今年度薬学部父兄会の第一回幹事会ならびに第二回総会が5月16日㈮に開催され、総会には52名の父兄が出席した。

総会では、大学側から実務実習、共用試験、薬剤師国家試験対策、定期試験、学生生活全般にわたって説明し、その後就職や国家試験の見通し等について活発な質疑応答が行われた。

総会のあと1年生の父兄は授業を、2年生から4年生の父兄は実習を見学した。また、当日を含め希望した父兄を対象にクラス担任が個別懇談を実施した。

(安藤 政明)



(歯)父兄会「地域会」

6月28日(土)大阪会場を最初に、福岡、東京の3会場で歯学部父兄会地域会が開催された。教育方針、カリキュラムの特色、学生生活、カウンセリング、第6学年の成績分析と今後の対策について、天野歯学部長、横瀬カリキュラム委員長、大野第6学年主任よりスライドを使用して詳細な説明があった。

参加者は学生数の1/3にあたる200名以上にのぼり、国家試験についての質問が多く出されたが、多くの保護者から「教員と学生の努力に任せるだけでなく、我々保護者もできることを一つでもすることが大切で、三位一体の強力な体制が必要である」との有り難い叱咤激励があった。

その後、各学年に分かれて個別懇談会が行われた。特に東京会場では第1、第2、第3学年は学年主任のほかに1名のクラス担任が加わり、予定時間を大幅に超過して無事終了した。

(齋藤 高弘)



学長杯球技大会

今年で第14回目を迎えた奥羽大学学長杯球技大会は、5月24日(土)、25日(日)、無事開催することができた。多くの学生がフットサル、バレーボール、ソフトボール、それぞれの競技で賞金獲得を目指してチーム一丸となって頑張った。

学長杯は毎年2日間で行われている。今年の1日目は天候にも恵まれ、全ての競技を予定通りに進めることができた。2日目は雨となってしまったので、残念ながらソフトボールに参加していたチームの1位を決めるることはできなかった。バレーとフットサルは1位、2位、3位を決めることができ、それぞれ賞金を与えることができたが、ソフトボールの賞金は1回戦を勝ち抜いたチームで均等に分けることとなった。

初戦で負けてしまったチームも、勝ち進んだチームもあるが、どのチームも学年に関係なく協力しあい、戦うことができたと思う。

来年は是非2日間とも天候に恵まれ、全ての競技で参加者が満足できるような球技大会が開けたらと思う。

(安 ひとみ)



献体者合同慰靈式

平成20年度の「奥羽大学献体者合同慰靈式」は、6月2日(月)午後1時より郡山市片平町の靈鷲山常居寺において厳粛に執り行われた。

新緑の清々しい空のもと、式にはご遺族、白菊会会員ならびにご来賓の方々約100名のご臨席を賜り、本学からは天野義和歯学部長をはじめ、教職員および本年度系統解剖学受講の第2学年全員が参列した。はじめに、昭和47年開学以来歯科医学の教育研究のために尊い献体をされた1377柱の御靈に対し靈鐘ならびに默禱を捧げ、お導師様の読経のなか、平成19年度成願者28柱のご尊名が挙唱され靈札納塔の儀が行われた。



引き続き、天野歯学部長が式辞を述べ、「私たち一同は、教育に、研究に多大のご貢献をいただきました尊い御靈ならびにご遺族の方々の、暖かく、深いご理解に対し、改めて人類の健康と福祉の向上に寄与すべく、誠心誠意努力することを誓います。」と献体諸靈へ感謝を捧げ、教育研究に取り組む決意を表明した。

学生代表の小林東君の追悼のことばに続き、天野歯学部長、学生の杉原弘晃君、安積優衣さんによって献花が行われ、ご献体を賜った方々ならびにご遺族に感謝し、ご冥福を心からお祈りした。最後に、参列された方々の焼香が行われ、慰靈式を滞りなく終えた。

慰靈式終了後、常居寺本堂において追善供養が行われた。参列者は、ご住職の法話により献体に対する思いを新たにされ、献体者の

方々のご冥福をお祈り申し上げながら、しばらく和やかな懇談の時をもち、午後3時過ぎ散会となった。
(伊藤 一三)



高大連携公開講座

近年、奥羽大学では、社会に開かれた大学を目指して市民対象の公開講座を本学にて開催するなど、教育・研究の情報発信に鋭意取り組んでいる。その一環として平成20年度から「高大連携公開講座」を実施している。「高大連携公開講座」は、一般市民に広く開放された“公開講座”の講義シリーズの一環として企画している。「高大連携公開講座」は、高校や中学校にこちらから出向いて、中・高生によくわかるように歯学部、薬学部の教育研究内容などを解説しようとする試みで、通称“出前授業”と呼ばれているものである。本年は安積帝京高校の要請に応じ、開講した。

本年度初めには、福島県内の高校全てに案内とプログラムを郵送し、現在、奥羽大学ホームページにもプログラム・パックとともに案内を掲載している。プログラム・パックとしては、歯学部では、①体の不思議とその仕組み、②よく耳にするけど知らないこと、③口と歯は健康を左右する、などがあり、薬学部では、①薬の使い方や開発について、②病気や体の科学、③身のまわりの科学、などがある。社会に開かれた大学として、若い中・高生に、「一体、大学って何をしているのだろう?」という疑問に答える絶好の機会となるはずである。
(丸井 隆之)

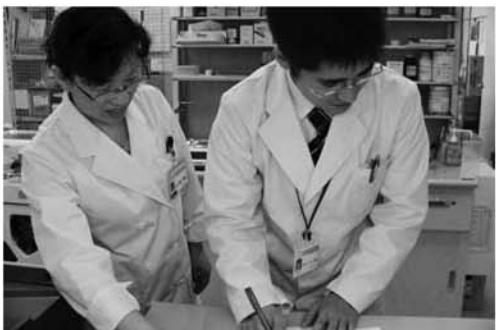
平成20年度4年制実務実習

—実務実習前半を終えて—

本学薬学部4年制第1期生220名は、4年次に4週間の病院実務実習、および2週間の薬局実務実習が単位化されている。

多くの薬学部は病院を有していないので(本学は歯学部附属病院を有する)、実務実習は外部の施設にお願いすることになる。6月には133名が本学附属病院を含めた病院、87名が薬局で実習を行い、9月にはそれぞれ実習施設を入れ替えて実習を行う。基本的に故郷に帰って地元から通えるようにと、実務実習担当が、実習先確保のために2年前から各施設を訪問するとともに、地区調整機構を利用して、北海道から沖縄まで病院107、薬局71施設を確保した。なんといっても地元福島県病院薬剤師会および薬剤師会の先生方には大変お世話になった。

(東海林 徹)



(薬)早期体験学習 —本学歯学部附属病院の見学—

6月18日(水)、薬学部1年生の早期体験学習が本学歯学部附属病院において行われた。この体験学習は、医療機関における薬剤師および他の医療スタッフの業務を入学早期に見聞して薬剤師の役割・使命を理解し、薬学生としての学習に対するモチベーションを高めるために行われるものである。

白衣に帽子とマスクを着用した学生は、10数名の小班に分かれ、緊張した面持ちでインストラクターの歯学部教員に伴われ、薬局→矯正・小児歯科→放射線室→総合歯科→病棟→口腔外科の各科を回り、普段は見られない治療現場や医療諸活動を見学学習した。また、薬局と病棟では、薬剤師や薬学部教員から調剤、薬剤やその情報管理、服薬指導など、薬剤師の業務について説明を受けた。

この体験学習を通して学生は、医療現場では実にさまざまな職種のスタッフがいること、各スタッフが責任感をもって協力し合いチーム医療を支えていることに感銘を受けたようである。丁度、実務実習中で薬局にいた4年生の先輩からは、「薬剤師には知識・技能ばかりでなくコミュニケーション能力も大切」と、率直な感想も聞かされた。1年生には、予期以上に薬学生としての自覚とモチベーションの高まりが感じられ、所期の目的は達せられたと思われる。

(高橋 朋子)



交通安全講習会

6月17日(火)午後6時より記念講堂において、平成20年度交通安全講習会が開催された。講師には郡山北警察署安齋一浩交通課交通第一係長にお越しいただき、講演と映画の上映が行われた。

講演では、郡山北警察署管内の交通事故発生状況について、本県における交通事故の特徴、事故原因、交通事故防止のための注意点に関する資料を提示していただき、分析結果に基づく明解な説明があった。さらに、平成20年6月1日施行された道路交通法の改正点について、自転車の歩道通行のルールが変わったこと、車の後部座席でのシートベルトの着用の義務化、平成21年6月までに施行が予定されている道路交通法の改正点などについて、資料に基づく分かりやすい説明があった。

続いて田巻勝幸守衛係長より、学生に対して車両通学に関する諸注意があった。また、映画では、車のスピードと制動距離、衝突の損傷や、道路の状況でスピード感が異なることなどを再確認でき、有意義な講習会であった。

(鈴木 陽典)



韓国慶熙大学薬学部教授来校

6月23日(月)に本学歯学部の姉妹校である韓国慶熙大学の薬学部より、サングュン教授と附属病院薬剤部のキム先生が本学薬学部を見学のために来校された。韓国における薬学教育は未だ4年制で、日本と同じく6年制にすべ

く模索中である。今回の訪問の目的は、すでに6年制に移行した日本の薬学実情、特に実務実習に関する見学であった。訪問のきっかけは、今年4月に韓国ソウルで日韓合同注射情報シンポジウムが開催され、その折にキム先生から訪問の打診があった。



当日は、天野義和歯学部長と丸井隆之歯学部教授としばし歓談の後、薬学部の模擬調剤薬局に案内し、本学における事前実習に関して説明した。その後、4年生の実務実習の最中であったので、「南東北病院」と「あさい薬局」で実習を見学していただいた。最後に躍進の像の前で記念写真を撮り、本学を後にされた。

(東海林 徹)

平成20年度科学研究費補助金

平成20年度科学研究費補助金の交付が決定した。採択者は下表の通りである。昨年の秋に本学から102件の申請を行い、その中から14件が採択され、合計23,075,000円が交付された。うち、継続研究が9件、新規採択は5件である。

今年度は研究者が使用できる直接経費以外に全研究課題において直接経費の30%を上乗せした間接経費（研究機関が使用できる経費）5,325,000円が配当されている。平成19年度の実績では、103件の申請で18件（内1件は転入者の継続分を含む）が採択され、交付金額は28,262,976円、間接経費は3,960,000円であった。

今年度は、全体的な採択数は減少したもののが間接経費が1,365,000円増加しており、研究機関の研究環境を充実させる経費として期待される。

また、補助条件の変更により今年度からは他大学に所属する研究分担者に対して研究分担金を送金し、管理・使用することになったため、他大学等との事務連携が重要となっていている。

来年度もさらなる採択率のアップと、研究費の適正な使用と管理・監査に努めていきたい。

(設楽 民雄)

(単位：円)

研究科目	区分	研究代表者		交付額 (直接経費)	交付額 (間接経費)	
		所属：職	氏名			
若手研究B	新規	歯学部：助 教	中 貴弘	600,000	180,000	
	継続	歯学部：助 手	安藤伊都子	400,000	120,000	
	継続	薬学部：助 手	木田 雄一	1,300,000	390,000	
若手研究（スタートアップ）	継続	歯学部：助 教	鄧 雪	1,350,000	405,000	
	新規	歯学部：教 授	高田 創	1,200,000	360,000	
		薬学部：教 授	石幡 明	2,200,000	※ 660,000	
		薬学部：教 授	米原 典史	2,300,000	※ 690,000	
		薬学部：准教授	柏木 良友	2,000,000	600,000	
	基盤研究C	歯学部：教 授	清浦 有祐	500,000	150,000	
		歯学部：教 授	廣瀬 公治	700,000	210,000	
		歯学部：教 授	横瀬 敏志	1,700,000	510,000	
		歯学部：教 授	高橋 慶壯	1,400,000	420,000	
		薬学部：教 授	衛藤 雅昭	1,400,000	420,000	
		薬学部：講 師	阿部 賢志	700,000	210,000	
合 計		14件		17,750,000	5,325,000	
交付総額				23,075,000		

※は他大学に研究分担者がいる研究者です。

受託研究

平成19年度に企業等よりの奨学寄附金及び受託研究費は以下のとおりであった。今後の研究成果が期待される。

	企 業 名	研 究 者	金 額 (円)
歯 学 部	明治薬品(株)	高橋 慶壯 教 授	1,500,000
	日進オイリオグループ(株)	高橋 慶壯 教 授	300,000
	(財)新技術開発財団	栗城 源一 教 授	1,270,000
	イーエヌ大塚製薬(株)	清浦 有祐 教 授	1,000,000
	伊藤超短波(株)	横瀬 敏志 教 授	1,000,000
	ジョンソン＆ジョンソン(株)	濱田 節男 教 授	315,000
	総合南東北病院	山崎 信也 教 授	111,000
	ホスピーラ・ジャパン(株)	川合 宏仁 准教授	100,000
薬 学 部	塩野義製薬(株)	衛藤 雅昭 教 授	1,000,000
	協和メデックス(株)	衛藤 雅昭 教 授	800,000
	味の素ファルマ(株)	東海林 徹 教 授	500,000
	川澄化学工業(株)	東海林 徹 教 授	300,000
	中外製薬(株)	小畠 俊男 教 授	500,000
	日本漢方生薬製剤協会	堀江 均 准教授	300,000
	(株)カイゲン	堀江 均 准教授	500,000
	(有)テラケミ	岩木 和夫 講 師	367,500
	テルモ(株)	押尾 茂 教 授	
		宮嶋 勝春 准教授	1,000,000
合 計			10,863,500

学友会活動記録**○ゴルフ部**

春季関東歯科大学ゴルフ対抗戦
4月19日(土)・4月20日(日)
グリーンアカデミーカントリークラブ
男子個人 正木 孝平 3位
女子団体 2位
男子団体 2位

関東歯科大学ゴルフ対抗戦
6月13日(金)・6月14日(土)
千葉県 千葉国際CC
男子個人 双石 博之 2位
男子団体 優勝
女子個人 山城絵美子 3位
女子団体 2位

○バスケットボール部

東北デンタル
5月2日(金)～5月6日(火)
北海道
男子 3位

○アーチェリー部

福島県学生選手権大会
6月7日(土)・6月8日(日)
日本大学工学部アーチェリー部
50・30m 飯塚 有紀 (薬2年) 2位
30mダブル 今井 彩乃 (歯1年) 1位

県総合体育大会

7月12日(土)・7月13日(日)
三春町運動公園運動場 (A・Bグラウンド)
男子50・30m 圓城寺良文 (歯3年) 1位
男子30・30m 長谷川 祐 (歯1年) 1位
女子30・30m 今井 彩乃 (歯1年) 1位



アーチェリー部

歯学体結団式

7月16日(木)、歯学体結団式が第2講義棟で行われた。

まず、天野義和歯学部長よりケガなく全力でプレーしてほしいと激励の言葉があり、出席者全員で声を合わせ「がんばるぞ」と士気を高めた。

次に、選手団を代表して、学友会会长清水峰太君(歯4年)が清水秋雄学長に宣誓をした。続いて、歯学体評議委員長堀田雄一君(歯5年)、本学部門主管空手道部志賀公輔君(歯2年)、同フットサル部主将小嶋忠之君(歯4年)からのあいさつがあり、最後に、奥羽大学応援歌を声高らかに合唱し式を終了した。

日頃の鍛錬の成果を十二分に發揮して、昨年以上の成績と熱い思い出を是非残してもらいたい。

(渡辺 克己)



大学院入学式・オリエンテーション

平成20年度の大学院歯学研究科入学式は4月4日(金)、午後1時から附属病院棟5階の第3会議室で大学院教員列席のもと挙行された。本年度の新入学の大学院生13名に対して清水秋雄学長より入学が許可された後、告辞があり、新たに博士課程の道に進んだ新入生へ励ましの言葉があった。

また、平成20年度の大学院歯学研究科のオリエンテーションは、入学式終了後の午後2時から講義棟第4教室(大学院セミナー室)

で開催された。このオリエンテーションでは1年生から4年生の全員に対して、研究科長より本年度のカリキュラムについての説明を行った。特に本年度入学の大学院生に対してはシラバスをもとに詳しい説明を行い、昨年度から新しくスタートした社会人特別選抜入学者にはその履修要項も配付した。

(鈴木 康生)



大学院特別セミナー

大学院では、国内外の優れた研究者による特別セミナーを年に数回開催している。本年も計7回のセミナーが行われる予定である。すでに5月から6月にかけて下記のセミナーが開催され、多くの大学院生や教員が聴講した。

(清浦 有祐)

開催月日	演題名	講師
5月23日	口腔を含むカンジダ粘膜感染の病理解析	帝京大学教授 安部 茂
6月4日	新しい過食肥満モデルマウスとレプチニンガナル伝達	筑波大学教授 石井 哲郎
6月24日	インプラントGBRの現在と未来	広島大学教授 赤川 安正

NHK大学セミナー in 奥羽大学

NHK福島放送局と奥羽大学の共同主催による標記セミナーが、主に歯学部2年生を対象として、5月16日(金)午後2時10分より約2時間にわたって第3講義棟で開催された。この「NHK大学セミナー」とは、NHKが、学生のキャリア教育に活用してもらいたいとの意図から、平成15年度より全国各地の大学に番組制作者やアナウンサーを講師として派遣して開いているものであるが、福島県では初めて、本学で実施されることになったのである。

当日は、「ことばおじさん」として名高い梅津正樹アナウンサーが、「出張！大人のジョーシキ大学」のタイトルで講演され、言葉は社会環境によってつくられ、時代とともに変化していくものであるという考えを、豊富な実例を使って話された。

終了後、梅津アナウンサーを囲んで写真撮影を行うなど、和気藹々とした雰囲気のひとときとなった。

(榎原 直文)

**オープンキャンパス**

本年度最初のオープンキャンパスが6月14日(土)に開催された。当日の朝、「岩手・宮城内陸地震」が発生し、本学に向かっている高校生たちから、開始の10時には間に合いそうもない等の連絡が相次いだが、幸い、さほどの混乱もなく、学部紹介に始まり、個別進学相談に終わる従来どおりのスケジュールを全

うできた。

7月26日(土)にも開かれたが、この日は、参加者が、実習体験や模擬授業、あるいはキャンパス見学等のメニューを自由に選択できるアラカルト方式を採用した。これは初めての試みであったが、高校生たちには好評だったようで、次はどこに回るか友人と、あるいは両親と相談しては会場に急ぐ生き生きとした表情に、生憎の雨模様も吹き飛んだようになり、キャンパスは華やいだ。

なお、オープンキャンパスは、今後、8月24日(日)と9月6日(土)に、やはりアラカルト方式で開催される予定である。

(谷代 尚人)

**中高生大学見学**

6月から7月にかけて、次の4校の生徒が本学を見学に訪れた。

6/18(木)	東白川農商高等学校1年生	37名
7/ 2(水)	二本松第二中学校3年生	10名
7/ 3(木)	郡山第二中学校3年生	6名
7/ 8(火)	福島東高等学校2年生	39名

いずれの学校の生徒も、まず本学の教育の特徴について説明を受けたのち、薬学部の実習施設を、薬剤師とはどういう仕事をする人なのかなどについて学びながら、見学した。そして、薬草園や附属病院、あるいは第3講義棟などの施設を回って、メモリーで食事を楽しんだ。なかでも、郡山第二中学校の生徒

は、午後も3時過ぎまで滞在し、歯・薬両学部の実習の模様等を見学することができ、満足の面持ちで大学を後にしたのが印象的だった。

(榎原 直文)



第17回奥羽大学公開講座

期日	時間	講 師・テーマ
7/26 (土)	9:30 ～ 10:30	歯学部 加藤幸一 教授 虫歯の皇太子 —光源氏の栄華を支えたもの—
	10:45 ～ 11:45	薬学部 伊藤頼位 講師 ハイテク英語教材で ネイティブの発音に近づこう！
8/24 (日)	9:30 ～ 10:30	歯学部 藤井史郎 教授 フランス・ナビー君はフランス という国を知っていますか？—
	10:45 ～ 11:45	薬学部 山下俊之 准教授 私は誰？—知れば知るほど 面白い免疫の不思議—
9/6 (土)	9:30 ～ 10:30	薬学部 野島浩史 教授 痒いところに手が届く カユミの話
	10:45 ～ 11:45	薬学部 押尾 茂 教授 もうギョウザは大丈夫？
10/11 (土)	9:30 ～ 10:30	歯学部 車田文雄 准教授 (カウンセラー) より良いコミュニケーションづくり —自分自身をアニメキャラでCHECK—
	10:45 ～ 11:45	歯学部 吉田いくよ 非常勤講師 (ヴォイスプロ) パフォーマンス学 —「笑声」で好感度アップ—

日本歯科保存学会賞の栄誉

天野義和歯学部長は、平成3年に日本歯科保存学会の理事となり、主に根管形成法・根管充填法・根尖の封鎖性に関する一連の研究に従事されるなど永年にわたり歯科保存学分野において多大な学術的貢献をされた。また、医療合理化委員会委員、研究連絡委員会委員、編集委員会委員、研究活性化委員会委員長、常任理事を歴任され、第110回日本歯科保存学会大会長も務められた。このような日本歯科保存学会の発展に指導的役割を果たしてこられた功績により、栄えある日本歯科保存学会賞を6月5日㈭の第128回日本歯科保存学会で受賞された。

(横瀬 敏志)



第45回奥羽大学歯学会

第45回奥羽大学歯学会が、6月21日㈯に第2講義棟で開催された。副会長の鈴木康生大学院研究科長の開会の辞で始まり、午前中は8演題の発表があった。内容は基礎的研究から症例報告や歯学教育に関する報告など広範囲にわたり、活発な討論がおこなわれた。昼には評議員会と総会が開かれ、学会賞の対象を『奥羽大学歯学誌』以外の学術雑誌にも広げることや、優れた学会発表を表彰することが了承された。午後は6演題が発表され、副会長の清野和夫附属病院長の閉会の辞で終了した。次回の開催は11月8日㈯の予定である。

(清浦 有祐)

国際学会

[歯学部] 国際学会参加報告

開催時期	国際学会	開催地	発表演題	本学参加発表者
6/2(月)～5(木)	第86回国際歯科研究学会	カナダ・トロント	歯周病原性細菌の混合感染による サイトカンの產生	玉井利代子
6/2(月)～5(木)	第86回国際歯科研究学会	カナダ・トロント	支台築造用無色光重合型 コンポジットレジンの硬化深度	山田 瞳、鎌田 政善
6/2(月)～5(木)	第86回国際歯科研究学会	カナダ・トロント	顎面補綴用インプラントの生体力学的検討	山森 徹雄
6/2(月)～5(木)	第86回国際歯科研究学会	カナダ・トロント	小児全身麻酔後のデクスマデトミジンを 用いた術後鎮静管理	川合 宏仁
7/21(月)～26(土)	第15回味と匂いの 国際シンポジウム	米国 サンフランシスコ	ゼブラフィッシュとメダカのアミノ酸・ 苦味に対する味神経応答	古山 昭

[薬学部] 国際学会参加報告

開催時期	国際学会	開催地	発表演題	本学参加発表者
4/19(土)～20(日)	第7回日韓注射薬臨床情報 学合同シンポジウム	韓国 ソウル	静注した不溶性微粒子の行方	渡邊 由香 倉本 敏二 東海林 徹
			招待講演:輸液療法中にインラインーフィルターは 必要か?	東海林 徹
4/26(土)～29(火)	第77回欧洲動脈硬化学会	トルコ イスタンブル	メタボリック症候群患者におけるレムナントリボ 蛋白コレステロールと small dense LDL	衛藤 雅昭
6/19(木)～22(日)	第13回国際感染症学会	マレーシア クアランプール	環境中に存在する遺伝子変異ポリオウイルスに 対する現行ワクチン政策の有効性評価	堀江 均
			ヒト消化管由来細胞におけるポリオワクチン ウイルスの遺伝子変異機構の解析	堀江 均
7/ 9(木)～12(日)	国際血液幹細胞学会	アメリカ ボストン	免疫性血小板減少症マウスモデルに対する 天然物の効果	藤井 貴一

附属病院**平成20年度歯科医師臨床研修開始式**

平成20年度歯科医師臨床研修は、4月1日(火)第1講義棟第2研修室にて開始式が挙行された。本学附属病院において通年の研修を行う単独型研修プログラムを選択した研修歯科医21名、協力型施設へ出向研修する地域医療研修プログラムを選択した研修歯科医15名の併せて36名（うち、他大学卒業生1名）が本学附属病院臨床研修歯科医として登録された。

開始式では呼名・起立後、病院長より臨床研修が許可され、「全人的な治療を心がけて下さい」との訓辞があった。

続いて、歯学部長より、学生の時と歯科医師となった今では状況が違うことの説明があり、身だしなみや言動などを注意し、技術もさることながら人格の形成に努めるよう訓辞があった。

式終了後デンツプライ賞が磯田智代、小野寺海保の2名に、歯科補綴学優秀者賞が細井麻生に授与された。

研修義務化3年目となる今年度は、指導にあたる臨床研修専任教員として歯科医師以前の「人」としての心構え、特に「ほう・れん・そう：報告・連絡・相談」を強調し、「時間厳守」の徹底を指導することが重要と考えている。また、各自の気力・能力・人格に合わせた指導を心がけ、歯科医としての自覚を覚醒させることを通して患者さんの心を読み・掴めるような人間的充実を促す指導ができる、と考えている。研修歯科医師にとって充

実した研修期間となることを念じている。

(高録 伸郎)

平成20年度登院式

4月2日(水)、歯学部第5学年（94名）の登院式が臨床講義室において行われた。

式には歯学部長、附属病院長および関連教職員が出席し、天野学部長から院内生の心構えについて、清野病院長から臨床実習の目的と意義について訓辞があった。

登院式終了後、齊藤高弘臨床実習実務委員会委員長からオリエンテーションが行われ、臨床実習開始にあたっての詳細な説明と諸注意が行われた。

今年度の臨床実習では、各科目別臨床実習の強化、診療録記載におけるPOSの本格導入および基礎系科目の臨床実習への協力体制の整備など、より一層充実した臨床実習とするために教育手法の一部変更が行われている。関連教職員が一丸となってこれまで以上の実りある臨床実習にしていきたい。

(竹内 操)



平成20年度医療安全管理研修会

平成20年度の医療安全管理研修会が3回にわたり開催された。第1回は5月15日㈭「新しい医療事故防止マニュアルとその活用」と題して、医療安全推進委員長から新しく作成された医療事故防止マニュアルの使用法や活用法について解説された。教員105名、研修歯科医34名、大学院生24名、看護師8名、歯科衛生士25名、事務および医療職員23名の計219名が聴講した。

第2回は5月22日㈭「院内感染予防対策」と題して、当院内科の久野弘武教授より院内感染対策委員として、麻疹および麻疹抗体価測定の重要性について解説された。教員109名、研修歯科医34名、大学院生22名、看護師8名、歯科衛生士24名、事務および医療職員24名の計221名が聴講した。

第3回は5月29日㈭「歯科治療における投薬一医薬品の安全使用ー」と題して、当院薬局長の遠藤初恵薬剤師より、処方箋の記入ミスや薬の取り違いなどを起こさないようにするための注意点等について解説された。教員107名、研修歯科医34名、大学院生23名、看護師8名、歯科衛生士25名、事務および医療職員24名の計221名が聴講した。

医療安全管理研修会は、秋にも3回行われる予定で、医療安全の推進のために多くの教職員の参加をお願いしたい。

(山崎 信也)



平成20年度第1回研修歯科医派遣式

平成20年度歯科医師臨床研修複合型プログラムによる地域医療短期臨床研修プログラム(8名)、地域医療長期臨床研修プログラム(2名)の協力型臨床研修施設への派遣式が7月4日㈮に挙行された。

派遣される研修歯科医師10名は、呼名・起立後に清野和夫病院長より「技術ではなく各自のできることで地域社会に貢献するように」と訓辞があり、続いて高橋和裕臨床研修プログラム委員会副委員長より、複合型歯科医師臨床プログラムの特色と修了認定について説明があった。杉田俊博臨床研修プログラム副責任者より、協力型臨床研修施設での研修心得についての訓話があった後、10名の研修医の各々が派遣先施設の所在県名を述べるとともに研修に対する決意を表明し、出席者全員の激励の拍手によって見送られた。

前期派遣の研修医の研修先は10施設で、短期臨床研修プログラムは北海道1、宮城県1、福島県3、栃木県1、東京都1、鳥取県1に派遣され、その期間は10月25日までの4ヶ月間となっている。また、地域医療長期臨床研修プログラムは本年度よりスタートしたプログラムで、8ヶ月間の協力型施設研修が決まっている。派遣先は青森県1、山形県1であり、その期間は平成21年2月28日までとなっている。実り多い研修であることを期待する。

(高録 伸郎)



図書館

「蒲生明文庫」の開設

図書館は4月19日(土)、田村市滝根町の漢方薬剤師であり、入水鍾乳洞の発見者として知られている故蒲生明氏の旧蔵書457冊、雑誌21種類、調剤等で使用する器具類一式を、故人の四男蒲生邦典氏(さいたま市在住)並びに故人が生前公私ともに関係を深めていた滝根町博多医院の博多美保子先生の協力により寄贈を受け、図書館のバックナンバー室に「蒲生明文庫」として設置、開設した。蔵書の内容は医薬、言語学、民俗学、植物学など多分野にわたっており、故人の学識の広さをうかがわせている。

蒲生明氏は明治29年8月、田村市滝根町に生まれた。小野町の高等小学校卒業後、常葉町の青山医院の書生として入り、独学で薬学を学び、大正10年薬剤師の免許を取得、東京の駿河台病院の薬剤部長として勤務。大正12年の関東大震災で被災、患者の救済に当たったのち、郷里に帰り滝根町の博多医院の薬剤師兼書生として仕事と勉学にいそしみ、大正13年、郡内で最初の薬局を開業した。決して豊かとは思えない一寒村での薬局経営のかたわら、植物、民俗、言語学などの研究に没頭、特に牧野富太郎とは交流を深めた。昭和2年、友人3人と入水鍾乳洞を発見、綿密な調査を実施、この中で新種のヤスデを世界昆虫学会で発表、「ガモウタテウネホラヤスデ」の学名を得た。

一方、キノコと中毒についても研究、ササモダシと呼ぶ新種のキノコをドイツのキン類学会で発表、「ガモウタケ」と学名が付けられ、ますます村の科学者として大自然を友としての研究の道を歩んだ。彼の研究成果の多くは雑誌『植物研究雑誌』『茸類の研究』『薬局』などに発表、常に村から世界に向けて情報を発信していた。

また、柳田国男が主宰する雑誌『民間伝承』には数多くの原稿を投稿、言語学や国語学の領域にも情熱を注ぎ、新村出からの書簡など

もあり、ひもといた言語は11カ国語、中にはエジプト象形文字、梵語、タイ語にまで及んでいる。まさに南方熊楠を思わせる巨人の風格があった。昭和45年9月、文部省国語審議会漢字之部「漢字改定試案」についての意見書を上申したが、その翌月、脳出血により急逝した。享年75歳。10代から書き始めた「日記」は死の当日まで1日も欠かさず克明に記されており、戦前、戦後の世相を知る上でも貴重な資料と成り得よう。

(安藤 勝)



私が薦める一冊の本

『プラシーボの治癒力 心がつくる万能薬』
(ハワード・ブローディ著、伊藤はるみ訳、
日本教文社)

「病は気から」という言葉がある。また、プラシーボ(Placebo)効果が30%以上もあるとの報告もある。一体、薬の効果だけで病は本当に治癒するのだろうか。誰もが1度は疑問に思ったことがあるのではないだろうか。本書は、そうした質問に答えを与えてくれる。

著者のブローディ氏は、ミシガン州立大学で教鞭をとるかたわら実際に医療にたずさわる開業医でもある。“人間の体には治癒や症状の改善をもたらす物質を作り出す力（体内的製薬工場）が備わっており、体が心からのメッセージを受け取り、この力を発揮する”という考え方を中心に、臨床現場の実例を数多く紹介しながら生化学的な議論をもとに「プラシーボ反応」の科学的な解析が行われている。ここで取り上げている「プラシーボ反応」

とは、偽薬の投与の有無にかかわらず心身相関的な治癒のプロセス全てを含み「プラシーボ効果」よりも幅広い定義となっている。医師や家族の何気ない一言でこの体内の製薬工場が稼動し、「プラシーボ反応」を起こすプロセスが活性化され、単に薬の効果だけでは説明できない治癒効果がもたらされる。場合によっては、逆に治癒が阻害される場合もあり、著者はこれを「ノシーボ効果」と呼んでいる。“治療効果をより確かなものとするために「プラシーボ反応」を積極的に利用しよう、心は体に効く”と著者は訴える。

もちろん「プラシーボ反応」だけで病気が治癒されるものではないが、医療に係わるものとして患者に対する1つの言葉あるいは1つの行為がいかに治療効果と結びついているか、本書はその重みとそれがもたらす治癒効果を科学的なものとして再認識させてくれるものとなっている。医療にたずさわるものとして自らを振り返るために、ぜひ一読してみてはいかがだろうか。

(宮嶋 勝春)

余 滴

我が家には三毛、茶トラ、黒トラあわせて6匹の猫がいる。その中でも一番年長なのがメスの三毛猫で、7歳くらいであろうか？人に換算すると55歳程度だそうだ。猫は人に比べ虫歯にはなりにくいものの、歯周病に罹りやすい動物のようである。人であれば毎日の歯磨きで予防ができるが、ペットはそうはいかない。ホームセンターに行けばそんなペットのためのオーラルケア用品が所狭しと並んでいるし、動物病院に行けばフッ素塗布やスケーリング、保存不可能ならば抜歯と、人と同じ治療を受けることになる。

ところで、猫の口腔疾患の中に「破歯細胞性吸収巣病 feline odontoclastic resorptive lesions (FORLs)」というのがある。この病気は破歯細胞によって永久歯が破壊、吸収されてしまう疾患で、原因はまだよくわかって

いない。

破歯細胞といえば、人では乳歯の歯根吸収時などに出現する細胞で、吸収する基質は異なるものの破骨細胞と同一細胞と考えられている。その形態から多核巨細胞とよばれ、核数は数10個～100個以上あるものもあるとされている。しかし、文献によると実際の乳歯歯根における破歯細胞内の核数は10個以下が全体の80～90%をしめ、歯根吸収時には小型の破歯細胞が中心的な役割を果たすようである。興味深いことに、破骨細胞の核数の分布は動物種によって異なり、猫では小型の破骨細胞が、95%になると報告されている。もし、破歯細胞が破骨細胞と同様の分布であるとしたら、猫の歯根吸収は非常に強力なのかもしれない。

人はもちろん猫にもオーラルケアが大切な時代になっているようである。

(茂呂 祐利子)

セクシュアル・ハラスメント 防止委員会活動報告

セクシュアル・ハラスメント防止委員会は、これまで様々な機会を通じて、セクシュアル・ハラスメントに該当する行為について周知徹底を図ってきた。

この結果、セクシュアル・ハラスメント防止に関して、大学内に一定程度のコンセンサスが得られたものと考えている。これまでに配布してきた事例集の中でセクシュアル・ハラスメントとされる行為には、犯罪行為として刑事罰を科される恐れのある事例が多く含まれている。学生・教職員が刑事被告人となり、その将来を絶たれる可能性もあるため、現在、セクシュアル・ハラスメント防止委員会は事例集の見直し作業に着手し、法に抵触する恐れのある行為の明確化を図っている。相手の同意なく、髪・胸・尻などになれなれしく触れたり、抱きついたりする行為は、たとえ酔っていたとしても強制猥褻にあたり、刑事罰を受ける恐れがある。さらに、平成12

年より施行されたストーカー規制法では、恋愛感情などの好意の感情、またはそれが満たされなかつことによる怨恨の感情から、つきまとう行為をストーカー行為として、6ヶ月以下の懲役または50万円以下の罰金に処すると定めている。ストーカー行為に該当する行為としては、相手を尾行し、待ち伏せる行為、拒否しているにもかかわらず、面会や交際を求める行為、携帯電話に交際を迫るメールや侮辱する内容のメールを何度も送りつける行為、中傷したり、名誉を傷つける行為などがあげられる。今年度は、事例集の見直し作業と併せてセクシュアル・ハラスメント実態調査を行い、本学におけるセクシュアル・ハラスメント防止活動のさらなる強化を図つて行く予定である。

(久野 弘武)

歯科業界は現在、非常に苦しい時代を迎えています。こんな時だからこそ同窓として助け合う、そんな会にしたいと思います。地元茨城に戻られる先生、勤務される先生は、ご連絡ください。

(茨城県支部長 渡辺 義宏)

天野力オリさん(第18期)が学会賞受賞

杏林大学医学部講師の天野カオリさんが日本解剖学会の「肉眼解剖学トラベルアワード(献体学術賞)」を受賞した。この賞は、若手研究者を対象として、献体を用いた優れた研究に授与されるものである。今回は天野さんの「胎児ならびに成人耳下腺管の形態学的観察—特に頬筋との関係について—」が肉眼解剖学の研究として高く評価されて選出された。なお、天野さんは本年度の同窓会学術奨励賞も受賞している。

(清浦 有祐)

同窓会

歯学部

今年度より茨城県支部会長を務めることになりました6期生の渡辺義宏です。

同窓の皆様におかれましては、御健勝、御活躍のことと思います。この度、前会長の中山清先生から私が引き継ぐこととなりました。できたての執行部で至らぬところも多くありますが、一同、同窓会のため頑張っております。

支部の現況は、会員数115名です。茨城県歯科医師会の会員数が1,341名で全体の8.5%となっております。そして、多くの先生方が県歯科医師会や各支部(県内9支部)で役員としてご活躍中です。

当会の活動状況は、毎年4月に総会、12月に学術講演会と忘年会を開催しております。また、東京歯科大学、松本歯科大学との三大学合同の保険講習会、ゴルフ大会も開催しております。対外的には、県内の校友会への参加等があります。学術講演では、定期的に日常の臨床にすぐに使える内容(ホワイトニング等)を主として行っております。



同窓生のひろば



田中 義博
(歯学部5期生)

歯科医師となって26年、大学を退職して16年、開業医として14年になりました。今回、青木北海道同窓会会長から、奥羽大学歯学部附属病院の協力型臨床研修施設として研修医を受け入れている私に執筆依頼が参りましたので、このことに限定して述べさせていただきます。遠路遙々、北海道東部の十勝で研修を受けてくれたことを光栄に思います。

まず、卒後臨床研修制度の概要ですが、平成8年に臨床研修が法制化され、平成12年の一部改正を経て平成18年4月より1年間の必修化がなされました。同時に、歯科診療所も研修施設となり得ることになり、平成19年4月現在、歯科診療所で協力型臨床研修施設は全国で約1,300施設、奥羽大学歯学部附属病院は約40施設と伺っています。

さて、近年、歯科医師需給問題等もあり国家試験の難度が上昇し、また、患者さんのデンタルIQも向上していることから、病院実習では患者さんを十分に診ることができない現状が、学会・講習会や歯科医師会等で話題となっていました。このことは一開業医として研修医を受け入れるにあたり不安となりましたが、卒業生の研修の一助となればとの思いから受け入れることを決意しました。私自身の開業では親族に医療関係者がいないこともあります、戸惑うことが多々ありましたので、研修に際しては、日常臨床はもとより生涯研修の必要性や医院経営の実態、地域への公衆衛生活動やボランティア活動等についても研修させたいと考えました。そのために北海道歯科学術大会や十勝歯科医師会・北海道同窓会主催の講習会等に一緒に出席するとともに、地域成人歯科健診や私が行う講演会等にも同行してもらいました。

最後に、研修医の皆さんには期間中忙しく慌

ただしいと思いますが、診療術式の基礎基本は普遍であり、歯科医師が忘れるがちな恒常的に行っている人様の口の中に平然と指を入れる非日常的な行為を行っている意義を、真摯に受け止めて欲しいと思います。



佐々木 美幸(旧姓:高久)
(英文科9期生)

奥羽大学卒業生の皆さん、お元気ですか。

文学部が無くなってしまい、とても残念ですが、皆さんと一緒に学んだ4年間は一生忘れることのない思い出です。

私は平成13年に英文科を卒業し、株式会社コジマに入社しました。コジマは当時、家電業界No.1の売上を誇り、全国に200店舗以上ある大企業で、新人研修は私を含め約1,000人が参加、TV取材が入るほどの注目ぶりでした。研修後、私は宇都宮駅東にあるコジマNew東店に配属され、ドキドキしながらも慣れない接客、レジ業務、カウンターでの受付、電話の対応に追われました。社員として当然、家電製品の知識を身につけることも重要で、とても苦労しました。英語とは関係ない?と思う業種ですが、意外と外国人のお客様が来店され、そんな時は私が指名され接客することが多くありました。その後、コジマ本社総務本部へ異動。お客様の対応から今度は店舗や社員のバックアップにまわる仕事になり、主に本社と店舗を繋ぐメール便の管理や社員の保険契約・管理を任せられました。そのため、新たなジャンルの自動車保険と生命保険の募集資格を取得しました。

現在は退職して、同期入社の夫と1才8ヶ月になる娘との3人暮らし。さらに今年12月に第2子を出産する予定です。専業主婦になつても毎日家事と子育てに追われ、自分の時間は本当に限られています。その分、当時の大学生活4年間がどれだけ自由でのびのびとしていたものかが、今になってよくわかります。学食「メモリー」で友達といつまでも

長話、とても楽しかったです。もちろん文学の勉強も私にとって大きな糧となりました。そのような環境を与えてくれた大学と自分の両親に今も感謝の気持ちでいっぱいです。

皆さんもそれぞれの道をゆき、きっと忙しい毎日を送られていることだと思います。会う機会は本当に少ないですが、いつの日か偶然に日本のどこかで会って、昔の懐かしい話でもできたらいいですね。それでは皆さん、お元気で…。

指定職紹介



歯学部長

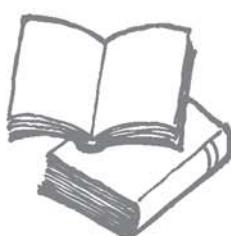
天野 義和

この度、4月より再度歯学部長を務めさせていただくことになりました。

何事に対しても教職員の皆さんとともに前向きの姿勢で臨みたいと思います。同窓の先生方にも何かとお世話になると思いますが、ご協力いただきますよう宜しくお願ひします。

大学基準協会への加入については3月に適正の認証を受け、「医療系大学間共用試験実施評価機構」は7月1日より加入を承認されました。これはひとえに事務方と教員が一体となって努力し協力してきた結果であると感謝しています。しかし、残念なことに歯科医師国家試験の結果が大変悪く、申し訳なく思っています。この対策として6年生に対しては4～6月の予定を急遽変更し、午前中は臨床科目、午後は基礎科目へと切り換えました。また、データ委員会を設け試験科目の弱点を指摘し、強化することにしました。さらに、確認試験では85%以上採れるまで試験を行い、成績の芳しくない者の底上げ補講を企画しています。

歯学部においては、今まで1コマ90分の授業を60分にして学生の授業に対する集中力を高めることにしました。また、欠席の多い者はそれに比例して成績が悪いので、これを防ぐ意味で出席率が80%以上でなければならないことを義務付けました。また、授業科目として総合学習を設け、繰り返し授業を各学年で行います。例えば月曜日に行った授業をその週の金曜日に試験し、75%以上採れるまで確認試験を行いフィードバックします。新しい科目としては、第1学年にICT教育、文章表現、歯科医療管理学などを開設し、歯科医療人間学とともに当学部独自のカリキュラムを盛り込みモデル・コア・カリキュラムを完全実施しながら建学の精神である「人間性豊かな歯科医師の養成」を目指して教職員一同頑張っています。





附属病院長

清野 和夫

少子高齢社会が現実味を帯び、国民の間では高齢者医療制度が話題となり、大学では全国的に入学定員割れが深刻化してまいりました。歯科医療を取り巻く環境も大きく変革し、医療者側においては社会的、経済的に負のイメージが広がりつつあります。このような時期に附属病院長の職を引き続き担うことに責任の重大さを感じています。

本学附属病院は、地域歯科医療の中核病院として、高度な先端歯科医療を提供するとともに、教育機関として本学歯学部と東北歯科専門学校の教育を担っています。昨今の教育現場では、臨床教育の充実と高度化が求められていますので、学習環境の整備は教育機関として早急の課題となっています。幸いにも昨年度は法人の年次計画に則り、総合歯科と矯正・小児歯科診療室がリニューアルされました。今年度も引き続き改修計画に沿って、旧矯正歯科診療室、口腔外科診療室および入院病棟を改修する予定です。臨床教育においては、新カリキュラムによる臨床実習が既に開始され、診療参加型臨床実習の充実がはかられています。また、歯科医師臨床研修においては協力型臨床研修施設と研修協力施設の増設をはかり、より地域医療に密着した、人間性豊かな歯科医師の養成に努めたいと考えています。

これからも、より安全で安心な高度歯科医療を提供し、地域社会から親しまれる病院を目指したいと思います。教職員はもとより、同窓の先生方ともども歩んで行きたいと考えていますので、何卒、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



歯学部学生部長

鈴木 陽典

このたび、平成20年4月1日付けにて歯学部学生部長の職を再度拝命いたしました。一期目の2年間は大学基準協会への入会、「医療系大学間共用試験実施評価機構」への加盟に向けた全学的な取り組みの中で、また不慣れの中での学生部運営でございましたが、皆様のお陰を持ちまして、平成20年度には協会と機構への入会が実現いたしました。この間、特に教学面においては歯学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠したカリキュラムの充実や、共用試験のOSCE、CBTに向けた教育・実習の整備、診療参加型実習の充実、さらに国家試験への支援において、皆様の協力やご支援をいただきましたことを深謝いたします。

学生部委員会は、従来学生生活面と教学面の両方に関わっておりましたが、昨年度教学面に関して、教務委員会が学部長直轄の機関として発足し、教育体制のより一層の充実が期待されます。現時点での重要課題に学生の学力向上がありますが、これには全学年における教育体制の充実と学生の勉学態度の見直しも必要で、昨年度から出席率の向上にむけた取り組みや、6年一貫教育の歯科医療人間学による態度教育の導入を行っております。本年度は2年目となります、皆様のより一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

歯科医師国家試験の合格者数の削減が文部科学省、厚生労働省で実施されつつある昨今、本学にとって正念場のこの時期において、学生部長としての重責を痛感しております。一貫した本学の教育理念を堅持しつつ、本学の発展のために精一杯努めたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。



薬学部学生部長
岩間 正典

このたび薬学部学生部長を拝命いたしました。薬学部は1期生が4年生になり、今年度末にはいよいよ薬剤師国家試験を受験いたします。本学薬学部にとって最初の国家試験ですから、何とか良い結果を得るよう一生懸命努力する所存ですので、皆様のご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

教員の多くは他大学での薬学部教員経験があり、国家試験に向けての勉強指導・対策授業等の経験も豊富ですが、やはり本学にとっては初めてのことですので、実際のところ何がよいのか、なかなかわからない部分もあります。来年3月の国家試験に向けて立てた対策が最善であることを信じつつも、神にも祈る気持ちです。

就職・進学も大きなテーマです。本年度は正規の4年制の最後の学年ということもあって就職は比較的順調ですが、将来を見据えて適切な進路が選択できているかどうかが心配な点です。歯学部と違い、薬剤師・薬学士の就職先は多岐にわたります。就職ガイダンスを通じて進路についての理解を深めるよう努めていますが、今後に向けて改善の余地が多いと感じています。

薬学部が6年制になるとともに、全国での薬学部進学希望者が減少しています。本学薬学部もそのあたりをまとめて定員を満たせなくなっています。平成21年度入試に向けて理事会は学費の大幅な値下げ、定員削減という大英断を下されました。薬学志望の高校生にとって大変ありがたいことで、本学志望者が大幅に増えることが期待できます。それでも6年間通うということがネックという状況は変わりません。なお厳しいということを理解しながら、入学者の確保、入学後の手当などにも当たっていくつもりですので、よろしくお願いいたします。



大学院研究科長
鈴木 康生

このたび、大学院研究科長の大役を拝命いたしました。その責務の大きさを痛感し、微力ではありますが大学院研究科の充実と発展のために、引き続き全力を尽してまいりたいと思っております。

本学大学院は「歯学及び歯学に関連する学術において深く理論応用を教授かつ研究し、その奥義を究め、歯学の進歩と社会福祉並びに文化の発展に寄与するとともに、有為な研究指導者を育成する」ことを目的としております。近年の科学の進歩・発展はめざましいものがあり、研究も現今はグローバル化するとともに学際的研究がなされています。大学においては大学院が研究活動の基盤となり、さらに各専門分野での幅広い研究がなされます。大学院においても、これまでの研究成果をもとに、より一層の活性化を推進していきたいと思います。

現在、大学院は新しい組織となり4領域・19専攻科で学際的な研究が発展するよう編成されました。また、教育面では新たな授業計画に基づきカリキュラム編成がなされ、これを毎年度充実させております。また、平成19年度からは社会のニーズに応え、地域で開業・勤務されている先生方に門戸を開くべく「社会人特別選抜者入学制度」を導入し、社会人大学院生の受け入れが始まりました。今後も一人でも多くの優れた大学院生を確保して活性化に繋げていきたいと思っております。

奥羽大学大学院の充実と発展のために、担当教員の先生方のご協力をいただくとともに、ご父兄、同窓の皆様にはご理解とご指導、ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

新任教授紹介



歯学部 生体構造学
渡邊 弘樹

この度、平成20年4月1日付けで奥羽大学歯学部生体構造学講座口腔組織学分野を担当させていただくことになりました。この教室の仕事を引き継ぐことは、身に余る榮誉でありますとともに、その責任の重大さを感じております。

私の略歴は、昭和57年3月に本学を卒業し、同年4月から岡山大学医学部及び医学部大学院で助手、大学院生として組織学を学びました。大学院修了後、東京歯科大学にて助手、講師として、20年間組織学、口腔組織学を教えてきました。その間平成7~8年に米国マサチューセッツ大学医学部に遺伝子輸送の研究のため留学しました。帰国後、教育環境が変化し、細胞分子生物学、発生学など複合科目の新カリキュラム導入に携わり、基礎科目境界部分や臨床科目との連携が如何に大切かということを学びました。その間モデル・コア・カリキュラム発表と重なったため、コアの取りこぼしなきことと、卒業時を見越した新時代に適応できる教育内容の充実を求められました。

さて、この度の着任において、私は本学の教育理念である「人間性豊かな歯科医師と医療の発展向上に貢献できる人材育成」を目的に、学生、大学院生、さらには研究面での教室員の育成に、微力ではありますが全力で取り組みたいと考えています。学生時代から多くの素晴らしい先生方に巡り合え、かけがえのない教えを賜りました。今、教壇を背に、自分がかつての先生方と同じ立場に置かれていることに気づき、その重責に身がすくむ思いがいたします。恩師に報いるためにも、教育では羈きのある興味が持てる講義を、研究では若い世代が発展させてくれるであろう遺伝子レベルを土台に、新しい視野で切り開きたいと思っています。



歯学部 生体構造学
深井 直実

このたび平成20年4月1日付をもちまして奥羽大学歯学部教育職員に任用され、生体構造学講座教授を拝命いたしました。受け持たせていただくのは口腔組織学分野です。

私は、1977年に東京医科歯科大学医学部を卒業、直ちに母校の脳神経外科教室に入局しました。受け持った脳動脈瘤の患者さんを契機に、脳血管障害に興味を持ち、さらに学位取得時に行った血管内皮の研究から動脈硬化の発生機序の解明に興味が発展、東京都老人総合研究所で臨床のかたわら血管内皮の研究を続けていましたが、機会あって1992年から米国ハーバード大学医学部のオルセン教室に留学しました。オルセン教授は細胞外マトリックス特にコラーゲンの泰斗で、主テーマは血管と骨の分子生物学です。

研究には終わりがありません。2年の留学予定でしたが、血管新生、さらには骨のリモデリングにも興味をもち、ここ奥羽大学にお世話になるまで16年間ボストンで研究生活を送りました。

上記のように私は日本の歯学部の教育の現場を全く知りません。私学のおかれている現況も知りません。ただ奥羽大学がよりよい教育を目指し、前向きに様々な改革に取り組んでいるということは聞き及んでいます。

日本の歯学教育、そして奥羽大学歯学部を一から知るつもりで、そしてそれらをより良いものとしていけるよう、私自身も勉強をしていきたいと思います。宜しくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

そして、私のような門外漢でも採用していただいたということは、私でも何かの役に立つと思われたことがあったからであると思います。場違いな発言も多々あるかと思いますが、奥羽大学歯学部の発展のため、そして日本の

歯学教育発展のために全力を尽くす所存です。

平成20年度教学関係人事

〈歯学部学年主任及びクラス担任〉

学年	主任	クラス担任		
1	廣瀬 公治	瀬井 幸史 藤井 良夫 小畠 真哲	瀬井 公一 藤井 治一郎 畠山 夫夫	
2	伊藤 一三	伊藤 齋伊 藤原 一芳 藤原 稔	伊藤 三英 藤原 博雄	
3	清浦 有祐	清安 石茂 安石 呂	浦部 有仁 田口 喜祐 呂利子	清浦 祐晴 石茂 紀利子
4	横瀬 敏志	菊池 横松 瀬山 敏仁	井澤 澄也 瀬山 徹	横瀬 哉子 瀬山 志昭
5	齋藤 高弘	齋清 竹中 藤野 内江	高晃 次 内江 次	斎藤 弘次 藤野 操郎
6	大野 敬	大福 山金 山影 鈴木 板鈴 岡瀬 伊東 東	野井 崎 山橋 木田 木田 川東	大野 敬德 和信 秀勝 樹保 仁彦 彦俊 洋司

〈薬学部学年主任及びクラス担任〉

学年	主任	クラス担任
1	野沢 幸平	伊藤 野山 藤井 沢本 野山 幸正
2	荒井 裕一朗	柏志 荒小 木村 井池 荒小 裕一
3	上野 明道	衛上 小山 藤野 谷下 小山 岩曾 谷下 木根 岩曾 堀米 江原 昭道
4	押尾 茂	

平成20年度客員教授・非常勤講師

〈歯学部〉

非常勤講師

●新任

英会話	丸井 智之
歯周病学実習	小林 之直
有床義歯学Ⅰ・Ⅱ実習	海老原 寛子
有床義歯学Ⅰ・Ⅱ実習	高玉 典彦
口腔生化学実習	原元 信貴
口腔生理学実習	富田 祐介
保存修復学実習	服部 寛

●継続

保存修復学実習	佐藤 正文
保存修復学実習	松岡 哲明
保存修復学実習	田島 直人
保存修復学実習	塩崎 洋堂
歯内療法学実習	佐藤 克
歯内療法学実習	山崎 信夫
歯内療法学実習	山田 真義
冠橋義歯学実習	加藤 崇

冠橋義歯学実習	吉田 展也	口腔生理学実習	辻 満
冠橋義歯学実習	小野崎 裕	生体材料・歯科材料学実習	熊倉 学
冠橋義歯学実習	白井やよい	生体材料・歯科材料学	覚本 嘉美
冠橋義歯学Ⅱ	赤川 安正	生体材料・歯科材料学実習	覚本 嘉美
有床義歯学Ⅰ実習	浅井 政一	生体材料・歯科材料学実習	泉 俊郎
有床義歯学Ⅱ実習	浅井 政一	口腔衛生学実習	菊地 正樹
有床義歯学Ⅰ	井上 昌幸	口腔衛生学実習	中川 正晴
臨床実習(シミュレーション)	菊池 利也	口腔衛生学実習	大澤 武雄
臨床実習(シミュレーション)	森川 公博	口腔衛生学実習	相馬 親良
臨床実習(シミュレーション)	佐熊 研	オーラルメディシン	外木 守雄
総合科目Ⅲ	阪口 英夫	オーラルメディシン	小澤 靖弘
口腔外科臨床実習	椎木 一雄	オーラルメディシン	森本 光明
口腔外科学	宮島 久	オーラルメディシン	渡邊 裕
口腔外科臨床実習	宮島 久	法 医 学	都築 民幸
小児歯科学実習	国崎 幸史	美 術	新井 浩
小児歯科学実習	金子 知弘	倫 理 学	昆野 伸幸
小児歯科学実習	原 憲司	歯科医療人間学	吉田いくよ
歯科矯正学実習	田所 生利	歯科医療人間学	鈴木 俊子
歯科矯正学実習	荻野 久		
歯科矯正学実習	大原 尚明		
歯科矯正学実習	三宅 弘直		
歯科放射線学	笛野 高嗣		
歯科放射線学臨床実習	笛野 高嗣		
歯科放射線学	丸茂 町子	スポーツと健康	池田 弘一
歯科放射線学臨床実習	丸茂 町子	心 理 学	川原 正広
歯科放射線学	櫻井 孝	心 の 科 学	川原 正広
歯科放射線学臨床実習	櫻井 孝	倫 理 学	昆野 伸幸
歯科放射線学	小林富貴子	法 学	河北 洋介
歯科放射線学臨床実習	小林富貴子	英 語 A	山下 由美
解剖学	佐藤 功二	薬 学	猪股 慎二
解剖学実習	佐藤 功二	品 科 学	榎並 洋介
口腔解剖学	田原 充	現 代 経 済 論	
口腔解剖学実習	田原 充		
歯科薬理学	沼倉 博人	科 学 と 哲 学	小笠原正薰
歯科薬理学実習	沼倉 博人	英 語 A	福富 靖之
歯科薬理学	高橋 顯仁	英 語 B	福富 靖之
歯科薬理学実習	高橋 顯仁	く す り と 法	小松 進
歯科薬理学	小川 勝弘	薬事関係法規	小松 進
歯科薬理学実習	小川 勝弘	西 欧 文 化 論	中村 青生
口腔細菌学実習	泉福 英信	日本語表現論	佐藤 宣男
口腔病理学	高田 隆	英 語 I	中野富士雄
口腔生化学	石井 哲郎	情 報 科 学	加藤 勝洋
口腔生理学	辻 満	情 報 科 学 実 習	加藤 勝洋

〈薬学部〉

非常勤講師

●新任

スポーツと健康	池田 弘一
心 理 学	川原 正広
心 の 科 学	川原 正広
倫 理 学	昆野 伸幸
法 学	河北 洋介
英 語 A	山下 由美
品 科 学	猪股 慎二
現代経済論	榎並 洋介

●継続

科 学 と 哲 学	小笠原正薰
英 語 A	福富 靖之
英 語 B	福富 靖之
く す り と 法	小松 進
薬事関係法規	小松 進
西 欧 文 化 論	中村 青生
日本語表現論	佐藤 宣男
英 語 I	中野富士雄
情 報 科 学	加藤 勝洋
情 報 科 学 実 習	加藤 勝洋

有機化学 I	加藤 國基	遠藤 初恵	薬葉 旧 劑 局	薬葉 新 劑 主任 局	4月 1日付
有機化学 II	加藤 國基	遠藤 龍弥	放射線技師 放射線科	診療放射線技師 主任・放射線科	4月 1日付
有機化学 III	加藤 國基				
薬品製造学実習	加藤 國基				
英語 II	秋間 聖代				

人 事**〈指定職選任〉**

天野 義和	歯学部長	4月 1日付
清野 和夫	歯学部附属病院長	4月 1日付
鈴木 陽典	歯学部学生部長	4月 1日付
岩間 正典	薬学部学生部長	4月 1日付
鈴木 康生	大学院研究科長	4月 1日付

斎藤 勇	准教授 生体構造学	旧	新	4月 1日付
		准教授・口腔機能分子生物学		
阿部 国聰	助教・口腔機能分子生物学	助 教 生体材料学	助 教 生体材料学	4月 1日付

大植 一樹	助手 成長発育歯学	旧	新	4月 1日付
		助 教 成長発育歯学		

川原 一郎	助手 口腔外科学	旧	新	4月 1日付
		助 教 口腔外科学		

山田 聰	助 手 歯科補綴学	旧	新	4月 1日付
		助 教 歯科補綴学		

鄧 雪	助手・口腔病態解析制御学	旧	新	4月 1日付
		助 教・口腔病態解析制御学		

安藤伊都子	助 手 講師	旧	新	4月 1日付
		講 臨 師 床		

石橋 賢一	助 手 講師	旧	新	4月 1日付
		講 臨 師 床		

高良 孔明	助 手 講師	旧	新	4月 1日付
		講 臨 師 床		

中條 雅人	助 手 講師	旧	新	4月 1日付
		講 臨 師 床		

酒井 章光	管理課長補佐 総務部	旧	新	4月 1日付
		管理課長 総務部		

矢部 政幸	技術主任 総務部	旧	新	4月 1日付
		技術係長 総務部		

遠藤 初恵	薬葉 旧 劑 局	遠藤 龍弥	放射線技師 放射線科	薬葉 新 劑 主任 局	4月 1日付
山森 徹雄	准教 歯科緩学	山森 徹雄	准教 歯科緩学	臨床教授 臨 床	4月 1日付
清野 晃孝	准教 診療科学	清野 晃孝	准教 診療科学	臨床教授 臨 床	4月 1日付
小池 勇一	教 薬 学	小池 勇一	教 薬 学	医 附 属 病 院	4月 1日付
衛藤 雅昭	教 薬 学	衛藤 雅昭	教 薬 学	医 附 属 病 院	4月 1日付
渡邊 弘樹	教	授	生体構造学	4月 1日付	
深井 直実	教	授	生体構造学	4月 1日付	
本間 浩	助	教	歯科補綴学	4月 1日付	
田村 潔美	助	教	口腔機能分子生物学	4月 1日付	
園田 正人	助	手	口腔外科学	4月 1日付	
春山 博貴	助	手	成長発育歯学	4月 1日付	
廣瀬 将邦	助	手	成長発育歯学	4月 1日付	
茂呂 尚紀	助	手	歯科補綴学	4月 1日付	
吉野 隆司	助	手	診療科学	4月 1日付	
木村 文泰	講	師	臨 床	4月 1日付	
板倉 慧典	助	手	臨 座	4月 1日付	
今関 肇	助	手	臨 床	4月 1日付	
梅里 朋大	助	手	臨 床	4月 1日付	
加藤 友大	助	手	臨 床	4月 1日付	
金井 英納	助	手	臨 床	4月 1日付	
北野 善太	助	手	臨 床	4月 1日付	
丹野 聖子	助	手	臨 床	4月 1日付	
辻 かおり	助	手	臨 床	4月 1日付	
常盤 賢市	助	手	臨 床	4月 1日付	
富田 修	助	手	臨 床	4月 1日付	
豊原 大業	助	手	臨 床	4月 1日付	
中池 祐浩	助	手	臨 床	4月 1日付	
成井 和貴子	助	手	臨 床	4月 1日付	
林 慶彦	助	手	臨 床	4月 1日付	
日高 徹也	助	手	臨 床	4月 1日付	
平山 圭史	助	手	臨 床	4月 1日付	
吉川 結	助	手	臨 床	4月 1日付	
六角 玲奈	助	手	臨 床	4月 1日付	

高橋 成周 助 手 薬 学 部 4月 1日付

〈採用〉

三浦 孝英 主 任 学事部(歯) 4月 1日付
 安齋貴美子 事務職員 学事部(歯) 4月 1日付
 柳原 直文 事務職員 学事部(歯) 4月 1日付
 内山 里枝 電話交換手 総務部 4月 1日付
 角田 貞伴 技術係長 総務部 4月 1日付
 赤瀬エリカ 歯科衛生士 看護部 4月 1日付
 大須賀麻衣子 歯科衛生士 看護部 4月 1日付
 太田奈央子 事務職員 総務部 7月 1日付

〈退職〉

野口 博志 助 手 生体材料学 5月31日付
 相楽 隆勇 技術職員 総務部 6月30日付
 宮嶋 勝春 教育職員 薬学部 7月31日付
 江原 潤平 教育職員 薬学部 7月31日付
 鈴木 梢 医療職員 看護部 7月31日付

慶弔

〈訃報〉

謹んでお悔やみ申し上げます。
 ●研修医 横本 有人
 祖父 横本彦六郎 殿 (84歳) 4月 5日
 ●看護部 長谷川淳子
 義母 長谷川ヒサノ 殿 (79歳) 5月 12日
 ●看護部 馬場マキ子
 義父 馬場 昭憲 殿 (80歳) 5月 29日
 ●薬学部 小野 哲也
 祖父 吉田定之助 殿 (91歳) 6月 19日
 ●総務部 佐藤 安宏
 実父 佐藤 安徳 殿 (82歳) 7月 16日

郡山自転車ロマン紀行（連載）

〈第7回〉

安積疏水をたどる

最近知り得たばかりの知識で言うならば、安積疏水と新安積疏水の幹線路と分水路を合わせた総延長は530kmだという。郡山・東京間が226.7kmであるからその倍の長さ、一直線にすれば、郡山・青森間501.2kmに若干プラスした距離に相当する。琵琶湖疏水（滋賀県・京都府）と那須疏水（栃木県）と並んで日本の三大疏水の一つだともいう。まさに郡山の「万里の長城」といったところだ。今までこれほど巨大な建造物が郡山にあるとは知らなかった。うかつといえばそれまでの話だが、その歴史をひもといてみると、これまた壮大な明治の「プロジェクトX」があったことに驚く。いまここでその歴史を詳らかに記す余裕はないので末尾の参考文献に譲るとして、簡潔には『日本国語大辞典』に「安積疎

水 福島県猪苗代湖から郡山市西方に引かれた農業用水路。明治15年(1882)完成。広義には昭和26年(1951)通水の額取山の東裾を潤す新安積疎水も含めていう」とある。「疎水」は「疏水」が正しい。『広辞苑』も「疎水」を使っている。辞典にも間違いか。

説明をもう少し補足すると、明治政府は土族授産と殖産興業を推進するため、安積開拓を国策第一号と定め、同時に開拓地の灌漑用として猪苗代湖の水を引くことを計画、大久保利通の政治的決断やオランダ人の政府御雇技術者ファン・ドールンの監修を得て、3年の歳月と延べ85万人の労働力を投じて完成、明治15年10月1日に桑野村開成館にて通水式を挙行した。

明治15年10月1日の東京日日新聞を見ると「猪苗代湖の通水式、風雨を突いて挙行」という見出しが、「岩倉具視右大臣、松方正義大蔵卿、徳大寺宮内卿ほか列席…山をうが

ち渓を填め、ずい道（トンネル）を設くること40余ヶ所…真に未曾有の大工事…雨にも拘らず競い競いし人民の喜悦は、風雨をもはばからず、烟花（花火）をあげ、競馬を馳せしなんど、いっそう勇ましくゆゆしかりし…」と報じている（『明治ニュース事典』）。おそらく郡山が開けて以来の一大イベントであり、特に農民たちの歓喜は極まったことであろう。

さて、これほど巨大な水路ではあるが、いったい郡山のどこを流れているというのだろうか。幹線路からは7つの分水路があるという。その分水路はさらに網の目のように再分水されて郡山の大地に水を供給している。身近な分水路を辿れば幹線路、果ては猪苗代湖に着くはずだ。いつもの遊び心で安積疏水の幹線路52kmを中心に走ってみた。以下日付順に記してそのマップを描き、ガイドしてみよう。

平成20年4月6日(日) 奥羽大学付近を流れる小さな水路から上流をめざす。喜久田の南東北総合卸センター、向原、待池へ。田んぼや森の中、道のない所を自転車で突き進むのは容易でない。何度もう回。疏水は西部第二工業団地の近くでずい道に入る。出口が見つからない。待池をぐるりと廻って帰宅。この水路は広谷原、八山田方面へ流れる第2分水路であることが後で判明。

4月20日(日) 藤田川の桜を見物。付近の水路に沿って上る。対面原、安子島方面。安子島北吉野でついに幹線水路に出くわす。初めて見る幹線水路。感激の対面だ。ここは対面原、日和田方面へ流れる第1分水路との



猪苗代湖の取水口

分岐点で、川幅約5メートル。満々たる水は音もなく黒々と一本の帶になって流れている。水は生きて喜んでいる、そんな感じだ。ウグイス、菜の花、そよ風。春爛漫。

5月10日(土) 安子島の第1分水路頭首工まで直行してから幹線水路に沿ってさかのぼる。磐梯熱海温泉の「カンボの宿」の前を通過。「無垢苑」管理人の磯貝さんについ道から五百川に落ちる頭首工まで案内してもらう。帰路、青色の丸い水管「安積疏水大橋」の上を歩く。ここは渡ってはいけなかったのかも。危険。橋の下は五百川。目がくらむ。橋の向こうはずい道。出口不明のためこの日はここまで。

5月17日(土) 熱海町長橋で前回不明だった出口を発見。田植えの農道を走る。農家の人が「あんた何してんの?」。夏出で第2分水路頭首工を確認。再び長いずい道。河内で出口を発見。田植えの田園風景に見入る。なるほど、水があるから米ができるんだ。

5月18日(日) 河内から幹線疏水路を下る。逢瀬公園の近くで水路を見失う。山林の中で追跡は無理。ぶらぶら自転車を走らせていたところ、逢瀬町多田野でつかまえる。「少年自然の家」から先はずい道。フジの花が水面にゆれている。農家の人の会話「米が安くてね」、「何かいい仕事ないかね」。世の中は切実だ。

5月24日(土) 三穂田町山口付近をうろうろ。三穂田町八幡の和氣神社、三穂田中学、山寺と走り回ってようやく三本木原、鍋山で水路を発見。ここからは比較的順調に下る。ウグイス、ホトトギス、アヤメ。安積台地は初夏のいろいろ。

水路は七ツ池から牛庭の大久保利通を奉つてある大久保神社の横を通り、東北自動車道の上を横断し、いよいよ川幅を狭めながら、安積町の荒池へ落ちる。ここが安積疏水路の終点だ。

6月28日(土) 梅雨の晴れ間。国道49号線をいっきに走る。中山峠を超えて猪苗代湖へ。とうとう着いた。上戸頭首工で湖水が疏水に変身していく様に見入る。安積疏水の出発点

はここなのだ。湖水はいきなりずい道に入り、沼上発電所で五百川に落ち、磐梯熱海温泉の「ホテル華の湯」の前で新たに疏水路が形成されて郡山方面へ流れしていく。

7月12日(土) ここを見なければ安積疏水をたどったとは言えない。猪苗代湖の湖西、日橋川に架かる十六橋水門だ。ここまで自転車では無理。図書館事務長の増子さんの車に同乗。この水門は湖の水位を調節するために造られた最重要ポイントだったが、昭和17年、小石浜水門の完成によりその役割は低減し、いま土木遺産に認定されている。安積疏水のシンボルと言えよう。水門の西側にファン・



逢瀬町河内附近の第3分水路水門

ドールンの銅像がある。安積疏水をたどる「飲水思源」の小さな旅は、ここで完結した。

*文献の案内 『安積疏水百年史』

- 安積疏水百年史編さん委員会編
安積疏水土地改良区 昭和57
『開拓者の群像 大久保利通と安積開拓』
立岩寧著 青史出版 平成16
『みずのみち安積疏水と郡山の発展』
根本博著 歴史春秋出版 平成14
『誰にでもわかる安積開拓の話：安積疏水百年のあゆみ』
助川英樹著 歴史春秋社 昭和59
『安積疏水』
東北農政局安積疏水農業水利事業所編・刊 昭和58
『疏水と小林久敬』山崎義人著
歴史春秋社 昭和61
『夢を実現させた男・先覚者小林久敬：
猪苗代湖疏水はこうしてつくられた』
酒井徹郎著 歴史春秋社 平成14

(図書館長 安藤 勝)

<委員会からのお知らせ>

本学報は、昨年度まで年6回発行してまいりましたが、諸般の事情により今年度から年3回の発行とさせていただきます。発行予定期は、7月、11月、3月となります。何とぞ、ご理解くださいますようお願いいたします。なお、皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。

連絡先／奥羽大学 総務部 広報担当

奥羽大学報119号（通算No244）平成20年7月31日発行

発 行	奥 羽 大 学
学 報	編 集 委 員 会
委 員 長	清 水 秋 雄

〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1

電話 024（932）8931㈹ FAX 024（933）7372

ホームページアドレス <http://www.ohu-u.ac.jp>

メールアドレス info@ohu-u.ac.jp

平成20年度 齢学部前期定期試験日程

1~4学年

学年		試験時間		期日		科目			
1 年	9:30~10:30	基礎物理学	基礎化学	8/25(月)	8/26(火)	8/27(水)	8/28(木)	8/29(金)	9/1(月)
	11:00~12:00								9/2(火)
2 年	13:00~14:00	口腔生理学	社会生物学	ドイツ語Ⅰ	美術	基礎生物学	統計數理学	社会歯科学Ⅰ	英語Ⅰ
	14:30~15:30					文章表現			総合学習Ⅰ
3 年	9:30~10:30	口腔衛生学	口腔生化学	口腔病理学	歯科放射線学	口腔細菌学	内科学	統合科目Ⅰ	生体材料・歯科材料学Ⅱ
	11:00~12:00						社会歯科学Ⅱ		歯科薬理学
4 年	13:00~14:00	冠橋義歯学Ⅱ	歯内療法学	小児歯科学	口腔外科学Ⅲ	保存修復学Ⅱ	歯科矯正学	総合学習Ⅳ	総合学習Ⅳ
	14:30~15:30	CBL演習				歯周病学			

平成20年度 薬学部前期定期試験日程

時限		1	2	3	4
曜日	学年	授業科目	授業科目	授業科目	授業科目
7/25(金)	1年	基礎物理学 日本文化論 スポーツと健康	英語 I		
	2年			臨床生理学	
	3年	製剤学	食品衛生学		
7/28(月)	1年	基礎生物学 自己表現論	法学 現代経済論		
	2年			薬品分析化学 II	
	3年		疾患薬理学 II		
7/29(火)	1年	英語 A	薬用植物学		
	2年			英語 II	統計学
	3年		薬品製造学		
7/30(水)	1年	生物学	物理学		
	2年			放射化学	
	3年		薬学英語 A 薬学英語 B		
7/31(木)	1年	情報科学	有機化学 I		
	2年			有機化学 III	
	3年		臨床検査学		
8/1(金)	1年	化学	数学 II		
	2年			物理化学 II	
	3年		生物薬剤学		
8/4(月)	1年	数学 I	医学史 心の科学		
	2年			生化学 II	
	3年		衛生化学		
8/5(火)	1年		心理学		
	2年			基礎薬理学	
	3年		薬物代謝学		